



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	35,030	28.7	3,598	189.3	7,623	15.8	5,108	9.3
26年3月期第3四半期	27,211	27.5	1,243	—	6,583	—	4,674	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 7,739百万円(15.5%) 26年3月期第3四半期 6,700百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	149.30	—
26年3月期第3四半期	136.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	125,860	99,476	78.9
26年3月期	119,727	93,222	77.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 99,280百万円 26年3月期 93,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	17.50	32.50
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	17.50	32.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	25.5	6,000	119.6	6,800	△7.5	4,600	△5.4	134.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報 (注記事項) に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期3Q	36,600,000株	26年3月期	36,600,000株
27年3月期3Q	2,380,986株	26年3月期	2,380,089株
27年3月期3Q	34,219,597株	26年3月期3Q	34,220,503株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
4. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済の動向は、米国においては、雇用環境の改善、個人消費の増加が顕著となり、景気拡大が続いていますが、欧州においては、一部に回復傾向が伺えるものの、全体的には低成長が続いています。中国においては、中央政府の構造改革の推進により、緩やかな減速基調となっています。わが国においては消費税率引上げ後の落ち込みから持ち直し、緩やかに回復しています。

このような経済情勢の中、当社のコア・ビジネスである横編機事業においては、中国における継続的な人件費高騰を受けて、ベトナム、カンボジア、インドネシア等のASEAN諸国やバングラデシュが、日米欧に向けたニット製品生産拠点として大きなウエイトを占めるようになりました。ASEAN諸国においては香港系の大手ニットメーカーが大規模な設備投資を行い、中国拠点の一部をシフトしており、また、バングラデシュにおいては、ファストファッションアパレルの短納期大量発注に対応するため、手動式横編機から生産効率の高いコンピュータ横編機へ移行する動きが活発になっています。これらの新興マーケットでは、コストパフォーマンスに優れる「SSR」や生産効率の高い「SVR」を中心に売上高が好調に推移しました。一方、中国市場においては国内消費向け生産への転換や、生産効率および品質の向上により競争力の向上を図る動きも見られ設備投資が回復しました。

アジア市場での売上が大きく伸びた一方で、欧州では高級品市場に強いイタリアをはじめ、全体的に景気低迷の影響を受けて横編機の売上が低調となりました。また近年拡大基調であったトルコにおいても、反動減から回復が遅れています。

国内市場においては、円高是正により生産回帰が進んでいますが、コンピュータ横編機の設備投資は前期に新機種への入替が大幅に進んだこともあり、当期はやや減少しました。

これらの結果、横編機事業の売上高は257億14百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、主力の「SDS-ONE APEX3」が、バーチャルシミュレーション機能を活用したビジネス効率化ツールとして、国内外の幅広い業界に採用され、堅調な売上となりました。また自動裁断機「P-CAM」についても、自動車内装部品、炭素繊維などの産業資材関連に販路が広がりました。この結果、デザインシステム関連事業の売上高は24億96百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、当社製品の安定性、耐久性、最終商品の品質などの優位性が見直され、国内外の大手メーカーから受注が回復し、売上高は24億26百万円（前年同期比190.3%増）と大幅に増加しました。

その他事業についても部品売上等が増加したことなどで、売上高は43億93百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間全体の売上高は350億30百万円（前年同期比28.7%増）となりました。利益面におきましては、販売台数の増加に加えて、為替レートの好転にともなう円換算販売価格の向上や増産効果などにより、営業利益は35億98百万円（前年同期比189.3%増）となりました。また営業外で為替差益37億7百万円が発生したことで経常利益は76億23百万円（前年同期比15.8%増）、当第3四半期純利益は51億8百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は前期末に比べ61億33百万円増加し、1,258億60百万円となりました。また自己資本の額は前期末に比べて62億51百万円増加し、992億80百万円となり、自己資本比率は78.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月31日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が539百万円減少し、退職給付に係る負債が38百万円増加し、利益剰余金が372百万円減少しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,002	12,490
受取手形及び売掛金	42,964	53,430
有価証券	70	59
たな卸資産	19,591	19,279
その他	2,969	3,830
貸倒引当金	△1,301	△1,413
流動資産合計	80,297	87,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,388	5,545
土地	10,879	10,927
その他(純額)	3,608	3,675
有形固定資産合計	19,876	20,148
無形固定資産		
のれん	4,762	5,227
その他	90	112
無形固定資産合計	4,852	5,340
投資その他の資産		
投資有価証券	8,417	8,004
退職給付に係る資産	784	322
その他	6,813	5,972
貸倒引当金	△1,315	△1,605
投資その他の資産合計	14,700	12,693
固定資産合計	39,430	38,183
資産合計	119,727	125,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,290	4,963
短期借入金	6,695	6,508
未払法人税等	2,310	1,218
賞与引当金	761	501
債務保証損失引当金	669	643
その他	3,786	4,290
流動負債合計	18,514	18,125
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
長期末払金	1,083	1,087
退職給付に係る負債	526	555
その他	1,379	1,617
固定負債合計	7,989	8,259
負債合計	26,504	26,384
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	71,158	74,438
自己株式	△6,904	△6,905
株主資本合計	100,837	104,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	328	648
土地再評価差額金	△7,350	△7,007
為替換算調整勘定	△1,138	1,215
退職給付に係る調整累計額	351	305
その他の包括利益累計額合計	△7,808	△4,836
新株予約権	180	180
少数株主持分	13	15
純資産合計	93,222	99,476
負債純資産合計	119,727	125,860

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	27,211	35,030
売上原価	15,333	19,551
売上総利益	11,877	15,479
販売費及び一般管理費	10,634	11,881
営業利益	1,243	3,598
営業外収益		
受取利息	245	292
受取配当金	94	104
為替差益	5,110	3,707
その他	201	210
営業外収益合計	5,651	4,315
営業外費用		
支払利息	62	97
デリバティブ損失	100	103
貸倒引当金繰入額	91	-
その他	57	89
営業外費用合計	311	290
経常利益	6,583	7,623
特別利益		
投資有価証券売却益	-	61
特別利益合計	-	61
特別損失		
減損損失	-	26
固定資産除売却損	-	13
特別損失合計	-	40
税金等調整前四半期純利益	6,583	7,645
法人税、住民税及び事業税	1,640	2,288
法人税等調整額	268	246
法人税等合計	1,908	2,535
少数株主損益調整前四半期純利益	4,675	5,110
少数株主利益	0	1
四半期純利益	4,674	5,108



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,675	5,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	265	319
為替換算調整勘定	1,759	2,354
退職給付に係る調整額	-	△45
その他の包括利益合計	2,025	2,628
四半期包括利益	6,700	7,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,699	7,737
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,007	2,402	835	23,246	3,964	27,211
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	20,007	2,402	835	23,246	3,964	27,211
セグメント利益	4,094	522	68	4,685	315	5,000

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,685
「その他」の区分の利益	315
全社費用(注)	△3,756
四半期連結損益計算書の営業利益	1,243

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,714	2,496	2,426	30,637	4,393	35,030
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,714	2,496	2,426	30,637	4,393	35,030
セグメント利益	5,750	615	560	6,926	474	7,400

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,926
「その他」の区分の利益	474
全社費用(注)	△3,802
四半期連結損益計算書の営業利益	3,598

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	生産高	前年同四半期比
横編機	22,862	115.8%
デザインシステム関連	2,535	122.4%
手袋靴下編機	2,349	319.5%
合計	27,747	123.1%

(注) 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	22,715	103.7%	4,746	70.5%
デザインシステム関連	2,783	109.3%	523	127.9%
手袋靴下編機	2,409	318.8%	197	122.1%
合計	27,908	110.7%	5,467	74.9%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	25,714	128.5%
デザインシステム関連	2,496	103.9%
手袋靴下編機	2,426	290.3%
その他	4,393	110.8%
合計	35,030	128.7%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。